
幼馴染はボクっ娘！？

りったん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幼馴染はボクっ娘！？

【Nコード】

N2101Y

【作者名】

りったん

【あらすじ】

善光寺五月は実はボクっ娘です。

（前書き）

【設定】

- ・ 小学校高学年～中学生
- ・ ボクっ娘
- ・ せりふはひらがな多用（くちぐせは「ばか」）

1、000文字～2、000文字くらいで

という、那音様よりのお題に基づくお話です。

善光寺五月。ぜんこうじ さつき 小学五年生。

彼女はクラスの誰もが認める美少女です。

そしてその上、男子ではなく女子が好きな「ボクっ娘」なのです。

そんな五月には、幼馴染の日輪寺真にちりんじ しんという男子がいます。

五月は真の事を幼馴染としか思っていないませんが、真は五月の事を昔から異性として意識していました。

五月は自分がボクっ娘なのを誰にも打ち明けていないので、髪も長く伸ばしておさげにし、女の子らしく振舞い、嫌で仕方がないスカートも履いています。

（ボクは女の子じゃないのに）

その苦しい胸の内を五月は誰かに打ち明けて相談に乗ってもらおうと思いました。

そこで、誰よりも自分の事をよく知っているとされる真に打ち明ける事にしました。

真は五月に呼び出され、夜の公園で会う事になりました。

（な、なんだろう？）

ドキドキしながら、五月が待つ公園に行く真です。

(まさか、コクられる?)

妄想が膨らみ、違うところも膨らみそうな真です。

公園に着くと、五月はブランコに乗っていました。

「ごめん、まった?」

キスマですませた妄想を振り払い、火照る顔を扇ぎながら真は五月に声をかけました。

「うっん、いま来たところだよ」

五月は爽やかな笑顔で言います。それにドキッとしてしまう真です。

「で、そうだんて?」

真は五月の隣のブランコに座ります。

「そのまえに、わらわないってやくそくしてほしいんだ」

五月は真剣な表情で真を見ます。真はビクツとして、

「わらわない? どういうこと?」

真は不思議そうな顔で五月を見ます。

「いいから、やくそくしてよ、ばか」

五月はムツとして言います。彼女の悪い癖。ムカつくとすぐに「ばか」と言ってしまうのです。

「あ、ああ。わかった、やくそくするよ」

五月の口癖を知っている真は気にする様子もなく言います。

五月はその返事にニコツとしてから、

「じつはね、ボク、おんなのことがすきなんだ」

「え？」

真は五月の言った事がすぐに理解できません。

（どういうこと？ なにいつてるの、さつき？）

真は混乱しました。でも五月はそれには気づかず、

「どうすればいいのか、おしえてほしいんだ」

「えっと、さつきはおんなのこだよね？」

真はようやく混乱を抑え、五月に尋ねます。

「みかけはおんなのこだけど、なかみはおとこだよ」

五月のその言葉は真にとって衝撃的でした。

（ええ？　こんなにかわいいのに、おとこのの！？）

真はショックで倒れそうです。

「ホントは、しんたちといっしょにやきゅうをしたり、サッカーをしたり、どろだらけになってあそびたいのに、おとうさんもおかあさんも、そんなこととしてはいけませんっていうんだ」

五月は涙ぐみました。それを見てまたドキツとする真です。

そして、ハタと気づきます。

（さつきはおんなのこじゃなくて、おとこ）

真の邪よこしまな心が増大しました。

思わずニヤリとしてしまいます。

「あ、いまわらったな、ばか！　わらわないうてやくそくしたのに、ばか！」

五月は涙を流しながら怒り出しました。

「ご、ごめん、さつき、さつきのことをわらったわけじゃないんだ。いいことをおもいついたので、あ、いや、なんでもない」

その「いい事」を五月に話してしまっではまずいと思い、慌てて口を噤む真です。

「へんなしん」

五月は真の言動がおかしかったので、くすくす笑いました。

「じゃあさ、おれがはいってるチームに来いよ。おんなもはいれるからだいじょうぶだよ」

「ホント?」

五月は目を輝かします。

「ホントさ」

「うれしいよ、しん!」

五月は大喜びして真に抱きつきます。

「わはは」

真は鼻血を垂らしそうなくらい興奮してしまいました。

(さつきにやきゅうをおしえるふりして……。ムフフ)

真は邪な事を考えていました。

次の日曜日です。真は五月を誘い、野球チームの練習に行きました。

五月は可愛いので、チームメートの男共が色めき立ち、女子達が殺気立ちます。

「バットはこうもって」

真は幼馴染の特権を存分に生かし、五月にまさしく「手取り足取り」指導をします。

それを羨ましそうに見る他の男達です。

真のある意味熱心な指導で五月はどんどん上達しました。

「ホームランだ!」

初めての打席でスリーランホームランを打った五月は、ホームインして真に抱きつかしました。

「おお!」

また羨ましそうにそれを見る男共です。

「しんのおかげだよ。うれしいよ、ボク」

五月がギュウツと真を抱きしめます。真はだらしない顔でニヤけました。

(さつき、胸、でかいなあ……)

もう変態です。

真のパラダイスはずっと続くかと思われました。

ところがある日の事です。

「善光さんがレギュラーで、日輪寺君は補欠です」

監督が言いました。

「……」

こうして、真の「幼馴染パラダイス」は終了しました。

(後書き)

ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2101y/>

幼馴染はボクっ娘！？

2011年11月4日13時11分発行